

令和5年度 情報処理科「電子商取引」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	情報処理科 3年C組
教科書	電子商取引 (実教出版)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得し、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解する。
 情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を身につける。

2 重点目標

Webページの作成方法や、表現方法についての知識を身につける。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 情報通信技術の進歩とビジネス	1. ビジネスの変化	情報通信技術の発展が、ビジネスの形態や広告・広報活動をどのように変化させてきたかを学習する。	発言内容 ワークシート
5		2. 情報通信ネットワークの活用と課題	通信ネットワークを担う企業の役割と業務、個人情報や知的財産権の保護と重要性について学習する。	
5	第2章 コンテンツの制作	1. ファイルの形式	図形・静止画・動画・音声などのファイル形式やその特徴について学習する。	発言内容 ワークシート 実習作品
6		2. 図形	基本図形や組織図、グラフの取り込みと編集方法を理解し、図形情報の効果的な利用法を学習する。	
7		3. 静止画 中間考査	静止画データの取得方法やこれを活用するための技法を学習する。	
6		4. 動画	動画データの取得方法やこれを活用するための技法を学習する。	発言内容 ワークシート 実習作品
7		5. 音声	音声データの取得方法やこれを活用するための技法を学習する。	
7		6. 情報の統合 期末考査	情報を統合することの意義や役割について理解するとともに、情報を統合するための技法を学習する。	
9	第3章 ウェブデザインと 広告・広報	1. ウェブページ制作までの手順	ウェブページを制作するための手順について学習する。	発言内容 ワークシート 実習作品
10		2. ウェブデザイン設計	ウェブデザインの意義や役割について理解させるとともに、デザインの基礎的な知識を学習する。	
10		3. ウェブページ制作の基礎	HTMLの基本的なタグやスタイルシート (CSS)、JavaScriptの利用方法を理解するとともに、ウェブページ作成ソフトウェアやワープロソフトウェアを利用する方法で、ウェブページを作成する基本的な技法を学習する。	
10		4. ウェブページ制作の応用 中間考査	CMSの意義や役割について学習する。	

11	第4章 ウェブページの公開	1. ネットワーク機器の種類と機能	通信ネットワークの仕組みや役割について理解させるとともに、ウェブページを管理・運営するために必要なネットワーク機器の基本的な知識を学習する。	発言内容 ワークシート 実習
12		2. 公開の方法	ウェブページを公開するための手順について理解させるとともに、インターネットの基礎的な知識を学習する。	
		期末考査		考査問題に対する 解答点数
1		1. 電子商取引のしくみ	電子商取引の意義や役割について学習する。	発言内容 ワークシート
		学年末考査		考査問題に対する 解答点数

4 評価の観点

関心・意欲・態度	ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき、商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲を持って、電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしている。
思考・判断・表現	電子商取引システムを構築するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用したり、顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信ができる。 知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができる。
技能	図形や静止画、動画、音声などのコンテンツを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用および、ウェブページの作成技法を身につけるとともに、これらを活用して電子商取引システムを作成できる。
知識・理解	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに、ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身につけている。

5 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

実習を伴う授業のため、毎時間きちんと出席し、授業に取り組むことが大切です。また、実習作品やワークシートなどの提出物は、必ず期限内に提出するようにしてください。
